

無期転換ルールへの対応状況等に関する調査

<ご協力のお願い>

- 2012年8月に労働契約法が改正され、無期転換ルール等が規定されました。無期転換ルールとは、契約社員やパート、アルバイト、再雇用者、派遣労働者など呼称を問わず、2013年4月1日以降に締結された有期労働契約が、通算5年を超えて更新された場合には、労働者自身の申込みにより、(申込み時点の有期労働契約が終了次第) 期間の定めのない労働契約(無期労働契約)へ移行(無期転換)されるというものです。この調査は、そうした法制度への対応状況等を明らかにするため、厚生労働省労働基準局の研究要請を受けて、同省所管の調査研究機関である(独)労働政策研究・研修機構(<https://www.jil.go.jp>)が実施するものです。今後の政策形成に反映する重要な調査となりますので、お忙しいなか誠に恐縮に存じますが、是非ともご回答にご協力を賜りますようお願い申し上げます。
- 調査票は、「平成28年経済センサス活動調査」(国の基幹統計)のデータベースから、無作為に抽出された全国の企業を通じて配布しています。ご回答は統計的に処理され、個人が特定されたり、個別の内容が他に漏れることは一切、ございませんので、ありのままをご記入ください。
- 調査票は、「**契約社員やパート、アルバイト、再雇用者など呼称を問わず、期間の定めのある労働契約(有期労働契約)で雇用されている方(有期契約労働者)**」、あるいは「**2013年4月以降に、期間の定めのある労働契約(有期労働契約)から、期間の定めのない労働契約(無期労働契約)に転換された方(正社員を含む)**」がご回答ください。なお、人材派遣会社に有期労働契約で雇用され、派遣先の会社へ派遣されている方も含まれますが、無期転換ルールが適用されるのは(派遣先の会社ではなく)「人材派遣会社」である等、注意点がありますので、設問に付されている注釈(※)を確認しながらご回答ください。
- 設問へのご回答は、矢印や「問*へ」といった接続に注意しながら、前から順を追ってご記入ください。また、「主なもの1つに○」「該当すべてに○」「数値を記入」等、記入方法の指定に沿ってご回答ください。ご回答は、選択肢の番号を○で囲んでください。「その他」を選択される場合は、具体的な内容を()内にご記入ください。
- 特に断りのない限り、**2018年11月1日現在の状況**についてご記入ください。ご記入が終わりましたら、別添の返信用封筒(茶色:切手不要)に入れ、**2018年11月27日(火曜)まで**に郵便ポストへご投函ください。
- なお、調査票の発送・回収・入力は、実査機関である(株)タイム・エージェンツに委託していますが、確かに当機構が主体となり、調査・分析を行うものに間違いございません(実査の期間中は、ホームページ上<https://www.jil.go.jp/information/enquete/index.html>にも明示します)。ご回答に当たり、ご不明な点等は下記の専用フリーダイヤル(無料)までお問合せください。

【お問合せ窓口】

TEL <専用フリーダイヤル(無料)> 0800-111-6661 (土日祝日を除く 9:00~17:30)

FAX 03-3770-6820 E-mail roudou@timeagent.co.jp

【調査の実施主体】 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 (担当) 調査部/渡辺、新井、荻野

【調査票の発送・回収・入力 委託先】 株式会社 タイム・エージェンツ (担当) 調査本部/荒木、大濱



I 現在の会社での仕事や責任、勤務地、賃金・労働条件等の状況についてお伺いします。

問1:職種は何ですか(主なもの1つに○)。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 管理的な仕事 | 10. 警備・保安の仕事 |
| 2. 専門的・技術的な仕事(医療関係) | 11. 製造・生産工程の仕事 |
| 3. 専門的・技術的な仕事(教育関係) | 12. 輸送・運転の仕事 |
| 4. 専門的・技術的な仕事(その他) | 13. 建設・採掘の仕事 |
| 5. 事務の仕事 | 14. 清掃など労務の仕事 |
| 6. 販売の仕事(営業を含む) | 15. その他() |
| 7. サービスの仕事(介護関係) | |
| 8. サービスの仕事(接客、飲食関係) | |
| 9. サービスの仕事(その他) | |

付問①:あなたの仕事と、業務の内容や責任の重さが同じ正社員はいますか(1つに○)。

※本調査を通じ、正社員とは「直接雇用かつ無期労働契約で、正社員・正規の職員として処遇されている者」とします。
 なお、あなたが「派遣労働者」である場合は、「派遣先の会社」の正社員についてご回答ください。

1. 同じ内容の業務を行い、責任の重さも同じ正社員がいる
2. 同じ内容の業務を行っているが、責任の重さは異なる正社員がいる
3. 同じ内容の業務を行っている正社員はいない
4. 分からない

付問②:役職についていますか(1つに○)。

1. ついでいる
2. ついでいない

付問:職位は何ですか(1つに○)。

1. 管理職(※)
2. それ以外の役職

※肩書ではなく、管理職＝「残業や休日出勤に係る手当の代わりに、管理職手当等が支払われている者」か否かで、ご回答ください。

問2:勤務先の業種は、何ですか(複数ある場合でも主なもの1つに○)。

※日本標準産業分類に基づく。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 鉱業、採石業、砂利採取業 | 10. 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 2. 建設業 | 11. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 3. 製造業 | 12. 生活関連サービス業、娯楽業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 13. 教育、学習支援業 |
| 5. 情報通信業 | 14. 医療、福祉 |
| 6. 運輸業、郵便業 | 15. 複合サービス事業(郵便局、協同組合など) |
| 7. 卸売業、小売業 | 16. サービス業(他に分類されないもの) |
| 8. 金融業、保険業 | 17. その他() |
| 9. 不動産業、物品賃貸業 | 18. 分からない |

付問:勤務先は「大学」ですか(1つに○)。

1. はい
2. いいえ

付問①:勤務先の(会社)全体の従業員規模はどれくらいですか(1つに○)。

- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 29人以下 | 3. 50~99人 | 5. 300~499人 | 7. 1,000人以上 |
| 2. 30~49人 | 4. 100~299人 | 6. 500~999人 | 8. 分からない |

付問②:本社を含めて、事業所はいくつありますか(1つに○)。

1. 事業所は1つ(本社のみ)
2. 事業所は2つ以上
3. 分からない

付問③:勤務場所について、「事業所間の異動(転勤)」や「事業所内の異動(配置転換)」の有無は、どのように決められていますか(それぞれ1つに○)。

事業所間の異動(転勤)	事業所内の異動(配置転換)
1. 事業所は限定(異動なし)	1. ある
2. 事業所間の異動はあるが、転居を伴う転勤はない	2. ない
3. 事業所間の異動があり、転居を伴う転勤がある	3. 分からない
4. 分からない	

付問④:勤務地の範囲(「事業所間の異動(転勤)」と「事業所内の異動(配置転換)」の両方とも)が、あなたと同じ正社員はいますか(1つに○)。

1. いる 2. いない 3. 分からない

問3:1週間当たりの、所定労働時間(休憩時間は除く)はどのように決められていますか(1つに○)。

※例えば、9～16時(休憩1時間)で週3日勤務の契約なら(7-1)時間×3日で、1週間当たりでみると18時間になります。

1. 週 10 時間未満 4. 週 30 時間以上 40 時間未満
2. 週 10 時間以上 20 時間未満 5. 週 40 時間(以上を含む)
3. 週 20 時間以上 30 時間未満 6. 分からない

付問①:1週間当たりで、実際に勤務している労働時間(休憩時間は除く。残業時間を含む)は、平均的にどれくらいですか(1つに○)。

※例えば、上記の所定労働時間(1週間当たり18時間)に加え、毎回1時間くらい残業している場合は、18時間+(残業1時間×週3日勤務)で21時間になります。

1. 週 10 時間未満 4. 週 30 時間以上 40 時間未満
2. 週 10 時間以上 20 時間未満 5. 週 40 時間以上 50 時間未満
3. 週 20 時間以上 30 時間未満 6. 週 50 時間以上 60 時間未満
7. 週 60 時間以上

付問②:あなたに、下記のような勤務制度は適用されていますか(1つに○)。

1. シフト勤務/交代制 4. フレックスタイム制
2. 変形労働時間制 5. 裁量労働制
3. 事業場外みなし労働制 6. どれも適用されていない

問4:賃金・労働条件について教えてください。

付問①:基本的な賃金は、どのように決められていますか(主なもの1つに○・数値も記入)。

1. 時間給 ⇒ 1時間当たり ()円
2. 日給 ⇒ 1日当たり ()円
3. 月給 ⇒ 1ヶ月当たり ()円
4. その他()※ ⇒ 1ヶ月平均 ()円
※その他を選択された場合は、「歩合給」や「年俸制」など、基本的な賃金の支払形態も()にご記入ください。

付問②:勤続年数等に伴う定期的な昇給や、評価等に応じた個別の昇給はありますか(1つに○)。

1. 勤続年数等に応じた定期的な昇給のみある
2. 評価等に応じた個別の昇給のみある
3. 両方ともある
4. どちらもない
5. 分からない

付問③：その他の労働条件として、下記の中に支給・適用されているものはありますか(該当すべてに○)。

- | | | |
|-------------|-----------------|--------------------------|
| 1. 賞与・一時金 | 6. その他手当 | 1 1. 職場内での教育訓練 |
| 2. 退職金・退職手当 | 7. 厚生年金・健康保険 | 1 2. 職場外での教育訓練 |
| 3. 通勤手当・交通費 | 8. 雇用保険 | 1 3. 自己啓発支援 |
| 4. 住宅手当 | 9. 法定を上回る有給休暇 | 1 4. 福利厚生 (施設利用補助や共済加入等) |
| 5. 家族手当 | 1 0. 法定を上回る健康診断 | 1 5. 支給・適用されているものはない |

付問④：現在の会社からの、昨年(2017年1月1日～12月31日)の税込み年収はどれくらいでしたか(1つに○)。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 65万円未満 | 8. 250万円以上 330万円未満 |
| 2. 65万円以上 100万円未満 | 9. 330万円以上 500万円未満 |
| 3. 100万円以上 103万円未満 | 1 0. 500万円以上 695万円未満 |
| 4. 103万円以上 130万円未満 | 1 1. 695万円以上 850万円未満 |
| 5. 130万円以上 150万円未満 | 1 2. 850万円以上 1,000万円未満 |
| 6. 150万円以上 195万円未満 | 1 3. 1,000万円以上 |
| 7. 195万円以上 250万円未満 | 1 4. 昨年は現在の会社で働いていない |

付問⑤：現在の賃金や労働条件に、納得していますか(1つに○)。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 納得している | 3. どちらかといえば納得していない |
| 2. どちらかといえば納得している | 4. 納得していない |
| | 5. 何とも言えない・分からない |

問5：現在の会社で、働いている理由は何ですか(該当すべてに○)。

1. 労働時間や出勤日数が短いから
(家庭や育児・介護、学業等の優先、健康・体力的な問題、就業調整しやすい等)
2. 残業が無い・少ないから
3. 休みやすいから (自分の都合を言いやすいから)
4. 賃金が魅力的だから (賃金水準が高い、昇給や賞与がある等)
5. 賃金以外の労働条件が魅力的だから (福利厚生や退職金制度等)
6. 自宅に近いから (通勤が楽だから)
7. 勤務地が限定されているから (事業所間の異動や転居を伴う転勤がない)
8. 仕事内容が魅力的だから (キャリアアップや経験につながる、やりがいがある等)
9. 事業内容や経営方針が魅力的だから
- 1 0. 資格や技能、経験を活かして働きたいから
- 1 1. 責任・ノルマの少ない仕事や、定型的な仕事をしたいから
- 1 2. 職場の人間関係や雰囲気が良好だから
- 1 3. 正社員としての働き口が見つからなかったから
- 1 4. 正社員に応募できる機会があるとされたから、試用期間中だから
- 1 5. 定年後の再雇用だから
- 1 6. 知人や、以前勤めていた会社等に誘われたから
- 1 7. 家業だから
- 1 8. 転職先が見つからないから (転職するのが面倒だから)
- 1 9. 特に理由は無い (たまたま採用されたから等)
- 2 0. その他 ()

問6: 期間の定めのある「有期労働契約」で働くことを、あえて選択しましたか(1つに○)。

1. はい (あえて選択した) 2. いいえ (そういう求人だった、会社の制度だから等)

付問: あえて「有期労働契約」を選択した理由は、何ですか(該当すべてに○)。

1. 期間限定で働きたいから (進学や就職、転居、独立等の予定があるから等)
2. 自分の都合で辞めやすいから (家庭や育児、介護等の優先、健康・体力的な問題等)
3. 職場や組織に縛られたくないから (自身の能力を活かしたい、人間関係がわずらわしい等)
4. 正社員や無期労働契約にはなりたくないから (残業や転勤、責任やノルマ等を避けたいから)
5. 賃金や労働条件の改善交渉がしやすいから (会社と対等でいられるから)
6. 契約終了時に手当等がもらえるから
7. その他 ()

問7: 現在の会社で、有期労働契約で働き始めてから、どれくらいになりますか(1つに○)。

※更新をすべて通算した勤続年数を教えてください。なお、現在の会社の正社員を定年後の再雇用者である場合は、有期労働契約になってからの期間をご記入ください。また、あなたが「無期労働契約への移行者」の場合は、現在の会社で有期労働契約で働き始めてから現在までの経過年数をご記入ください。

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 1年以内 | 3. 3年超5年以内 | 5. 10年超20年以内 |
| 2. 1年超3年以内 | 4. 5年超10年以内 | 6. 20年超 |

問8: あなたは有期労働契約から、期間の定めのない無期労働契約(正社員を含む)への移行者(無期転換者)ですか(1つに○)。

1. はい (移行者である) ⇒ 問15(P8)へ 2. いいえ

付問①: あなたは、現在の会社の正社員だった、定年後の再雇用者ですか(1つに○)。

※他の会社の正社員で、定年後に現在の会社で働き始めた場合は「いいえ」になります。

1. はい (定年後再雇用者である) ⇒ 問9へ 2. いいえ

付問②: あなたは、人材派遣会社に雇用されている「派遣労働者」ですか(1つに○)。

1. はい (派遣労働者である) 2. いいえ

問9: 1回当たりの契約期間の長さは、どれくらいですか(1つに○)。

- | | | |
|--------------|-------------|------------|
| 1. 3ヶ月未満 | 4. 6ヶ月 | 7. 1年超3年未満 |
| 2. 3ヶ月 | 5. 6ヶ月超1年未満 | 8. 3年以上 |
| 3. 3ヶ月超6ヶ月未満 | 6. 1年 | 9. 分からない |

付問: 契約の更新回数や通算の勤続年数等に、上限は設けられていますか(該当すべてに○)。

上限がある場合は、その内容も教えてください(数値を記入)。

※現在の会社の正社員だった定年後再雇用者である場合は、有期労働契約上の設定状況についてご記入ください。

1. 契約の更新回数に上限がある ⇒ () 回まで
2. 通算の勤続年数に上限がある ⇒ () 年 () ヶ月まで
3. 勤務できる年齢に上限(定年)がある ⇒ () 歳まで
4. 3の後、再雇用された場合の最終定年がある ⇒ () 歳まで
5. 上記以外の上限がある(具体的に)
6. 上限は設けられていない
7. 分からない

II 無期転換ルールの認知度や対応状況・意向等についてお伺いします。

問10:「無期転換ルール」について、下記の中で知っていることはありますか(該当すべてに○)。

- 1つでも○があれば付問も
- 1. 契約社員やパート、アルバイト、再雇用者など呼称を問わず、すべての有期契約労働者に適用される
 - 2. 無期転換ルールが適用されるのは、2013年4月1日以降に開始(更新)された、有期労働契約である
 - 3. 職種や部署、事業所が変わっても、「同一の使用者」との間なら契約期間は通算される
 - 4. 同一の使用者との間で、有期労働契約を締結していない期間が一年以上ある場合、それ以前の契約期間は通算対象から除外される(クーリングされる)
 - 5. 契約期間を通算して5年を超えても、労働者から「申込み」を行わなければ無期転換されない
 - 6. 上記はどれも知らないが、無期転換ルールという名称は聞いたことがある
 - 7. 無期転換ルールについては何も知らない・聞いたことがない
- 問11へ

付問: どのようなルートで、情報を入手しましたか(該当すべてに○)。

- 1. ホームページ
- 2. SNS (ツイッターやフェイスブック等)
- 3. 勤務先(派遣会社を含む)
- 4. 新聞報道やテレビ、雑誌や本
- 5. ポスターやパンフレット
- 6. セミナーやシンポジウム
- 7. 職場の同僚や友人、家族等
- 8. 労働組合
- 9. その他 ()

問11:「無期転換ルール」とは、更新等により有期労働契約が通算5年を超えた場合には、労働者自身の申込みにより、無期労働契約へ移行(無期転換)されるというものです。そうした無期転換ルールに基づいて、(現在の会社にかかわらず)「無期労働契約(期間の定めのない契約)」へ転換することを希望しますか(ただし、法定では原則、現行の働き方や賃金・労働条件のまま、契約期間の定めだけが無くなります)(1つに○)。 ※なお、「派遣労働者」の場合は「人材派遣会社」で、無期転換することになる点にご留意ください。

1. 希望する

2. 希望しない

3. 分からない

付問:「希望する」理由は何ですか(該当すべてに○)。

- 1. 雇用不安が無くなるから
- 2. 長期的なキャリア形成の見通しや、将来的な生活設計が立てやすくなるから
- 3. その後の賃金・労働条件の改善が期待できるから
- 4. 法定された権利だから
- 5. 労働組合等、他者にすすめられたから
- 6. 社会的な信用が高まるから
- 7. 会社の中核メンバーになれるから
- 8. その他 ()

付問:「希望しない」理由は何ですか(該当すべてに○)。

- 1. 契約期間だけ無くなっても意味がないから
- 2. 責任や残業等、負荷が高まりそうだから
- 3. 辞めにくくなるから(長く働くつもりはないから)
- 4. 現状でも雇用は比較的、安定しているから
- 5. 失業保険の受給等で、不利になると聞いたから
- 6. 制度や手続きがよく分からないから
- 7. 会社側に希望を伝えるのが難しいから
- 8. 無期労働契約ではなく、正社員になりたいから(無期労働契約に移行してしまうと、正社員になりにくくなる恐れがあるから)
- 9. 学生だから(他の会社に就職するから)
- 10. 高齢だから、定年後の再雇用者だから
- 11. 育児・介護休業等の後、正社員に復帰するから
- 12. 他に本業や副業があるから
- 13. 現状に不満はないから
- 14. その他 ()

問12:「無期転換ルール」では、2013年4月1日以降に締結・更新された有期労働契約がカウント対象(※)になります。現在の会社で、無期労働契約(正社員を含む)への移行(無期転換)を申込み権利について、あなたは現在、どのような状態にありますか(1つに○)。

※同じ会社でも、契約の終了から一定以上(契約期間が1年の場合は6ヶ月等)の期間が空いている場合、カウントはリセットされます。
 ※あなたが「派遣労働者」の場合、現在の会社とは「人材派遣会社」を指します(問13・問14も同様)。

1. 無期労働契約に申込み権利が発生し、既に移行を申し込んだ ⇒問13へ
2. 無期労働契約に申込み権利は発生したが、移行は申し込んでいない
3. 無期労働契約に申込み権利は発生していない(※)
4. 分からない

※無期転換申込権が発生しない特例適用の認定を受けた会社の「定年後再雇用者」を含みます。

付問: 今後、移行の申込みを行う予定はありますか(1つに○)。

1. ある
2. ない
3. 分からない

付問: 現在の会社で、無期労働契約へ移行(無期転換)することを希望しますか(1つに○)。

1. 希望する
2. 希望しない
3. 分からない

問13: 現在の会社に、5年超(あるいはそれより短い期間)の勤続年数のみを満たせば、有期労働契約時の働き方のまま、無期労働契約(正社員を含む)へ移行できる機会(制度や実績)はありますか(1つに○)。

1. ある
2. ない
3. 分からない

問14: 現在の会社に、問13とは異なる要件で、無期労働契約(正社員を含む)へ移行できる機会(制度や実績)はありますか(1つに○)。

1. ある
2. ない
3. 分からない

付問①: 移行後の雇用形態は、どのようなものですか(1つに○)。

※複数ある場合には、移行実績のもっとも多い移行先についてご回答ください。

1. 正社員
2. 上記より働き方や賃金・労働条件が限定された正社員
3. 有期労働契約時の働き方や賃金・労働条件を引き継ぎ、主に契約期間が無くなるだけの無期契約社員
4. その他 ()
5. 分からない

付問②: 要件の難易度について、どのように感じていますか(1つに○)。

1. かなり簡単
2. やや簡単
3. やや困難
4. かなり困難
5. 分からない

付問 a: 仮にそうした機会があるとして、どのような要件が求められると、移行は難しいと思いますか(該当すべてに○)。

付問 a: どのような要件が求められていますか(該当すべてに○)。

1. 遅刻や欠勤等、勤務態度に問題がないこと
2. 人事評価が一定以上であること
3. 上長や職場の推薦を得ること
4. 筆記試験や適性検査、面接試験等に合格すること
5. 一定の年齢以下であること
6. 一定の資格や免許、経験があること
7. 移行後の働き方に応じられること
8. その他 ()
9. 分からない

付問 b: 働き方の内容も教えてください(該当すべてに○)。

1. フルタイムで働けること、残業が発生すること
2. シフト制等の勤務制度が適用されること
3. 仕事の内容が変わる可能性があること
4. 配置転換や事業所間の転勤の可能性があること
5. 役職(管理的な立場)につく可能性があること
6. その他 ()

⇒ 回答後は問18(P10)へお進みください

Ⅲ 無期労働契約への移行状況等についてお伺いします。

問15: 有期労働契約から、無期労働契約(正社員を含む)へ転換したのはいつですか(1つに○)。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 2013年3月31日以前 | 5. 2016年4月1日以降 2017年3月31日以前 |
| 2. 2013年4月1日以降 2014年3月31日以前 | 6. 2017年4月1日以降 2018年3月31日以前 |
| 3. 2014年4月1日以降 2015年3月31日以前 | 7. 2018年4月1日以降 |
| 4. 2015年4月1日以降 2016年3月31日以前 | |

付問①: 無期転換時点で、現在の会社での、有期労働契約としての勤続年数はどれくらいでしたか(1つに○)。

- | | | |
|--------------|-------------|---------------|
| 1. 6ヶ月以内 | 3. 1年超 3年以内 | 5. 5年超 10年以内 |
| 2. 6ヶ月超 1年以内 | 4. 3年超 5年以内 | 6. 10年超 20年以内 |
| | | 7. 20年超 |

付問②: 無期転換後の現在の雇用形態は、どのようなものですか(1つに○)。

1. 正社員
2. 上記より働き方や賃金・労働条件が限定された正社員
3. 有期労働契約時の働き方や賃金・労働条件を引き継ぎ、主に契約期間が無くなるだけの無期契約社員
4. その他 ()
5. 分からない

問16: 無期転換後、働き方や賃金・労働条件がどのように変化したか教えてください。

付問①: 無期転換後の働き方(契約内容)に、次のような変化はありましたか(該当すべてに○)。

1. 職種が変更になった ⇒ 付問aも
2. 難しい仕事を任されたり、責任が重くなった
3. 役職への登用があり得るようになった
4. つける役職の上限が引き上げられた
5. 事業所内の異動(配置転換)があり得るようになった
6. 事業所間の、転居を伴わない転勤があり得るようになった
7. 事業所間の、転居を伴う転勤があり得るようになった
8. 所定労働時間が長くなった(フルタイムになった)
9. 残業や休日出勤が増えた
10. シフト勤務/交代制や変形労働時間制等の勤務制度が、適用されるようになった
11. その他 ()
12. 働き方に変化はない ※12を選択できるのは、1～11に○が無い場合です。

付問 a: 有期労働契約当時の職種は、何でしたか(主なもの1つに○)。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 管理的な仕事 | 10. 警備・保安の仕事 |
| 2. 専門的・技術的な仕事(医療関係) | 11. 製造・生産工程の仕事 |
| 3. 専門的・技術的な仕事(教育関係) | 12. 輸送・運転の仕事 |
| 4. 専門的・技術的な仕事(その他) | 13. 建設・探掘の仕事 |
| 5. 事務の仕事 | 14. 清掃など労務の仕事 |
| 6. 販売の仕事(営業を含む) | 15. その他 () |
| 7. サービスの仕事(介護関係) | |
| 8. サービスの仕事(接客、飲食関係) | |
| 9. サービスの仕事(その他) | |

※問1(P1)の、現在(無期転換後)の職種とは異なっていることをご確認ください。

付問②: 有期労働契約当時、1週間当たりで実際に勤務していた労働時間(休憩時間は除く。残業時間を含む)は、平均的にどれくらいでしたか(1つに○)。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 週 10 時間未満 | 4. 週 30 時間以上 40 時間未満 |
| 2. 週 10 時間以上 20 時間未満 | 5. 週 40 時間以上 50 時間未満 |
| 3. 週 20 時間以上 30 時間未満 | 6. 週 50 時間以上 60 時間未満 |
| | 7. 週 60 時間以上 |

付問③: 無期転換後の賃金や労働条件(契約内容)に、次のような変化はありましたか(該当すべてに○)。

1. 賃金の支払形態が変わった(時給制→月給制等)
2. 基本的な賃金の水準がアップした
3. 目標管理制度や人事評価制度が、新たに適用されるようになった
4. 勤続年数等に伴う定期的な昇給があり得るようになったり、昇給水準がアップした
5. 評価等に応じた個別の昇給があり得るようになったり、昇給水準がアップした
6. 新たな手当が支給されたり、これまで支給されていた手当の水準がアップした ⇒ 付問 b も
7. 賞与・一時金が新たに支給されたり、その水準がアップした
8. 退職金・退職手当制度が新たに適用されたり、その内容が充実した
9. 厚生年金・健康保険に新たに加入した
10. 福利厚生制度(施設・サービスの利用補助や共済加入等)が新たに適用されたり、その内容が充実した
11. 有給休暇の日数が増えた(病気休暇や慶弔休暇、リフレッシュ休暇など法定外休暇の付与等)
12. 健康診断の内容が充実した
13. 職場内での教育訓練が充実した
14. 職場外での教育訓練(自己啓発支援を含む)が新たに行われたり、その内容が充実した
15. その他()
16. 賃金や労働条件に変化はない ※16を選択できるのは、1~15に○が無い場合です。

付問 b: 変化があったのは、どのような手当ですか(該当すべてに○)。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. 住宅手当 | 7. 資格・役職手当 |
| 2. 家族(配偶者・子ども等)手当 | 8. 時間外労働手当 |
| 3. 通勤手当・出張手当 | 9. 休日・深夜労働手当 |
| 4. 精勤(皆勤)手当 | 10. 危険度や作業環境に応じた特殊作業手当 |
| 5. 食事手当 | 11. 交代制等の適用に応じた特殊勤務手当 |
| 6. 地域手当 | 12. その他() |

付問④: 有期労働契約当時、基本的な賃金はどのように決められていましたか(主なもの1つに○・数値も記入)。

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 時間給 | ⇒ 1時間当たり ()円 |
| 2. 日給 | ⇒ 1日当たり ()円 |
| 3. 月給 | ⇒ 1ヶ月当たり ()円 |
| 4. その他()※ | ⇒ 1ヶ月平均 ()円 |
- ※その他を選択された場合は、「歩合給」や「年俸制」など、基本的な賃金の支払形態も()にご記入ください。

付問⑤: 有期労働契約当時の税込み年収は、どれくらいでしたか(1つに○)。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 65万円未満 | 8. 250万円以上 330万円未満 |
| 2. 65万円以上 100万円未満 | 9. 330万円以上 500万円未満 |
| 3. 100万円以上 103万円未満 | 10. 500万円以上 695万円未満 |
| 4. 103万円以上 130万円未満 | 11. 695万円以上 850万円未満 |
| 5. 130万円以上 150万円未満 | 12. 850万円以上 1,000万円未満 |
| 6. 150万円以上 195万円未満 | 13. 1,000万円以上 |
| 7. 195万円以上 250万円未満 | |

付問⑥: 有期労働契約当時の賃金や労働条件に、納得していましたか(1つに○)。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 納得していた | 3. どちらかといえば納得していなかった |
| 2. どちらかといえば納得していた | 4. 納得していなかった |
| | 5. 何とも言えない |

問17: 無期転換後、あなたの心境に次のような変化はありましたか(それぞれ1つに○)。

	当てはまる	どちらかという当てはまる	どちらかという当てはまらない	当てはまらない	何とも言えない
働くモチベーション(やる気)が高まった	1	2	3	4	5
賃金・労働条件に対する満足感が高まった	1	2	3	4	5
会社への帰属・貢献意識が高まった	1	2	3	4	5
雇用不安が減り、定着を考えるようになった	1	2	3	4	5
有給休暇が取りやすくなった	1	2	3	4	5
不本意な雇用形態や賃金・労働条件で働かされているという意識が緩和された	1	2	3	4	5
長期的なキャリア形成の見通しや、将来の生活設計が描けるようになった	1	2	3	4	5

IV 有期労働契約のあり方や無期転換ルール等に対する見解をお伺いします。

問18: 無期転換ルールが施行された2013年4月1日以降、これまでに次のような経験はありますか(経験があることすべてに○)。 ※現在の会社に限らず2013年4月1日以降、働いたすべての会社でお考えください。

1. 契約の更新回数や通算の勤続年数に、新たに上限が設けられた
2. 契約の更新回数や通算の勤続年数が短縮された(最長雇用期間が短縮された)
3. 契約の終了から次の開始までに、一定の(クーリング)期間が設けられた
4. 契約更新時の判断基準が、厳格化された(一定の評価要件や試験の導入等)
5. 会社側から一方的に、契約終了(雇止め)を言い渡された
6. 賃金や労働条件が改善された
7. 人事評価制度が導入・改定された
8. 正社員に転換できる機会が新設・拡大された
9. 正社員に転換できる機会が廃止・縮小された
10. 正社員や他の雇用形態との、仕事や働き方の違いが明確化された
11. 働き方や賃金・労働条件が文書等で交付(明示)されるようになった
12. 以上のような経験は無い

問19: 現在、有期労働契約が終了(雇止め)されるかも知れないという、雇用不安を感じていますか(1つに○)。

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| 1. 感じている | 2. 感じていない | 3. 何とも言えない |
|----------|-----------|------------|

付問①: リーマンショック(2008年秋)当時に、有期契約労働者として働いていましたか(1つに○)。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 働いていた | 2. 働いていない |
|----------|-----------|

付問②: 有期契約労働者として働く中で、都道府県労働局の「総合労働相談コーナー」等の行政窓口へ、相談した経験はありますか(1つに○)。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

付問③:労働組合に加入していますか(1つに○)。

1. 現在の職場の労働組合に加入している
2. 職場以外の、外部の労働組合に加入している (コミュニティユニオン等)
3. 労働組合には加入していないが、相談 (電話等) したことはある
4. 労働組合に加入しておらず、相談経験もない

付問④:無期労働契約と有期労働契約の間、あるいはフルタイムとパートタイムの間の処遇差について、不合理だと感じたことはありますか(1つに○)。

1. ある
2. ない
3. 分からない

付問:処遇差の理由について、会社に説明を求めたいと思いますか(1つに○)。

1. 求めたい
2. 必要ない
3. 分からない

問20:有期労働契約が濫用(乱用)されるのを防止するため、諸外国では会社が労働者と有期労働契約を締結できる場合を限定しています(例えば「業務上の一時的な必要性がある場合」「育児休暇中等の代替要員を確保する場合」「労働者自身が希望している場合」等)。そうした法制度のあり方について、あなたはどのように思いますか(1つに○)。 ※なお、そうした法制度には「新規雇用の抑制」や「企業の海外移転」「締結理由をめぐる紛争の発生」等の課題もあるとされています。

1. 大いに賛成 (良いことだと思う)
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 大いに反対 (良くないことだと思う)
5. 何とも言えない・分からない

付問:諸外国では、有期労働契約の終了(雇止め)に当たり、契約終了手当の支払いを義務づけています。そうした法制度のあり方については、どう思いますか(1つに○)。

※なお、そうした法制度は「無期転換」を促進する可能性がある一方、企業が「雇止め」をしやすくなるとの見方もあります。

1. 大いに賛成 (良いことだと思う)
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 大いに反対 (良くないことだと思う)
5. 何とも言えない・分からない

問21:無期転換ルールは、有期契約労働者の雇用の安定化にどの程度、有効だと思いますか(1つに○)。

1. 大いに有効
2. どちらかといえば有効
3. どちらかといえば有効ではない
4. まったく有効ではない
5. 何とも言えない・分からない

付問:有効ではないと思う理由は、何ですか(該当すべてに○)。

1. 労働者の多くは希望しないと思うから
2. 無期労働契約へ移行できても、正社員になれるわけではないから
3. 有期労働契約でも、雇用はある程度、安定しているから
4. かえって雇止めが増える恐れがあるから
5. 会社側に希望を言い出しにくいから (自動で無期転換するわけではないから)
6. 更新等の上限設定やクーリング期間など、ルール回避の抜け道があるから
7. 勤続年数以外にも、無期転換に必要な要件を会社が自由に追加できるから
8. 罰則等の拘束力が無いから
9. その他 ()

V ご回答者の概要についてお伺いします。

問22:あなたの属性について、教えてください(指定が無い限り、原則1つに○)。

性別	1. 男性	2. 女性	
年齢	数値を記入 ⇒ 満 () 歳		
婚姻状況	1. 現在、結婚している	2. 離婚・死別後、独身	3. 未婚で独身
世帯主との続柄	1. 世帯主本人	3. 世帯主の父母	5. その他
	2. 世帯主の配偶者	4. 世帯主の子ども	6. 分からない
主にあなたが面倒をみている子どもや介護者	1. いる	2. いない	
最終学歴	1. 中学校	3. 短大・高専、専門学校	5. その他
	2. 高校	4. 大学・大学院	
居住地	都道府県名を記入 ⇒ ()		
住居の種類	1. 自身や家族の持ち家	2. 社宅・寮	3. 2以外の借家等

付問①:学校を卒業して、初めてついた仕事は有期労働契約でしたか(1つに○)。

1. はい (有期労働契約だった) 2. いいえ 3. 分からない

付問:「派遣労働者」でしたか(1つに○)。 1. はい 2. いいえ

付問②:これまでに転職した経験はありますか(1つに○・数値も記入)。

1. ある → (転職回数 回) (最も長く働いた転職先での勤続年数 年 ヶ月)
2. ない

付問③:社会保険への加入回避や税金の抑制、また、手当や年金の受給等を目的とした「就業調整」(労働時間の長さや年収水準の調整)を行っていますか(1つに○)。

1. 行っている 2. 行っていない

付問④:現在の会社での仕事以外に、他の会社でも働いたり、本業・副業を持つなど仕事を掛け持ちしていますか(1つに○)。

1. している 2. していない

付問:掛け持ち分も含めた、昨年(2017年1月1日~12月31日)の税込み年収はどれくらいでしたか。

1. 65万円未満 8. 250万円以上 330万円未満
2. 65万円以上 100万円未満 9. 330万円以上 500万円未満
3. 100万円以上 103万円未満 10. 500万円以上 695万円未満
4. 103万円以上 130万円未満 11. 695万円以上 850万円未満
5. 130万円以上 150万円未満 12. 850万円以上 1,000万円未満
6. 150万円以上 195万円未満 13. 1,000万円以上
7. 195万円以上 250万円未満 14. 昨年は働いていない(年収なし)

※現在の会社からの、昨年の税込み年収(問4の付問④(P4))以上になっていることをご確認ください。

付問⑤:掛け持ちしている仕事も含めて、あなたが働くのを辞めると、家計はどうなりますか(主なもの1つに○)。

1. 日々の生活が維持できなくなる
2. 日々の生活は何とかできるが、ローンの返済や学費・教育費、仕送り等の支払いが難しくなる
3. 日々の生活に支障は無いが、自身の小遣いや世帯の娯楽費、将来の貯蓄等ができなくなる
4. 自身の収入が無くなっても、日々の生活に何ら変わるところはない
5. 何とも言えない・分からない

— 調査はこれで終わりです。ご回答いただき、誠に有難うございました。

返信用封筒(茶色:切手不要)に入れ、2018年11月27日(火曜)までに郵便ポストへご投函ください。